

川口市立高等学校

ライブラリーニュース

NO.1 2022 年度5月号 担当者 3-9 嶋村、3-10 太田

図書委員会では、昨年に引き続きライブラリーニュースでオススメの本の紹介をします。是非、図書室に来て読んでみてください！

ビブリア古書堂の事件手帖

～葉子さんと奇妙な客人たち～

著：三上 延 KADOKAWA/メディアワークス文庫

鎌倉の片隅でひっそりと営業をしている古本屋「ビブリア古書堂」。その店主は古本屋のイメージに合わない若くきれいな女性だ。残念なのは、初対面の人間とは口もきけない人見知り。接客業を営む者として心配になる女性だった。

だが、古書の知識は並大抵ではない。人に対してと真逆に、本には人一倍の情熱を燃やす彼女のもとには、いわくつきの古書が持ち込まれることも。彼女は古書にまつわる謎と秘密を、まるで見てきたかのように解き明かしていく。

これは“古書と秘密”の物語。

実写映画化した古書ミステリー。本に関する知識も知ることができおすすめです。



(表紙の画像は出版社の許諾を得て掲載しています)

チグリジアの雨

著：小林 由香 角川春樹事務所

母の再婚をきっかけに、ある田舎町に引っ越すことになった高校一年の成瀬航基は突然いじめのターゲットになってしまう。いじめは次第にエスカレートしていき、我慢の限界を迎えた航基が出した結論は「死」。地元で『ゴーストリバー』と呼ばれる河を自殺の場所を選ぶが、その河でクラスメイトの月島咲真と出会う。そんな咲真が航基に対し、「報復ゲームに参加しないか」という衝撃的な一言を放つ――。



読んだ人の心に深く残るような作品です。
ぜひ手に取ってみてください。

雑学紹介～梅雨～

そろそろ梅雨の季節になりますね。皆さんは梅雨がなぜこのような字になったのかご存知ですか？たくさんの由来がありどれも諸説ありますが、雨が多い時期であることから『露にぬれて湿っぽい』という意味を持つ「露けし」からとったとする説と、梅が熟して潰れる時期であることや長雨により食べ物や衣服が傷んでしまう時期であることから「潰ゆ（ついゆ）」からとったとする説があります。どちらもこの季節の特徴を表した由来ですね。

